

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2023 奈良の受賞者へ賞状を授与

JICA は毎年、JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストを実施しており、2023 年度は「地球に生きる私たち –未来へつなげるために–」をテーマに作品を募集しました。この度、全国からの応募総数 37,592 作品(中学生の部:17,439 作品、高校生の部:20,153 作品)の中から「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」に選ばれた生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西職員が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

世界とのつながりが益々深まる現在、生徒たちが何を学び、未来に向けてどのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

【日程】 3月4日(月)15:00～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
育英西高等学校	国内機関長賞	2	垣根を越えた挑戦	奈良市三松4丁目 637-1

【日程】 3月4日(月)16:10～ (20分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
奈良教育大学附属 中学校	国内機関長賞	1	百聞は一見にしかず	奈良市法蓮町 2058-2
	佳作	2	Preserve Social Harmony and Technology Connecting to the Future!	
	佳作	1	平等な命	
	特別学校賞(※)			

※60 作品以上または全校生徒の 3 割以上応募した学校が対象

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課 後藤田 路子
TEL:078-261-0384 E-mail: Gotouda.Fukiko.2@jica.go.jp

<参考>

【受賞作品概要】

●国内機関長賞 育英西高等学校 2年 タイトル:垣根を越えた挑戦

バリ島での留学で私は異文化を受け入れた。それは他者の存在に気づき自己を形成させ、他者の存在に感謝できる事である。私は世界の子供達が自己構築を可能にし、他者と共に望ましい社会を作ろうとする為の学びの「居場所」を作りたい。その為には異文化という垣根を超え共に挑戦していく事が大事だと心から思う。

●国内機関長賞 奈良教育大学附属中学校 1年 タイトル:百聞は一見にしかず

ケニアを訪問した際、途上国だからといって全てが劣っているわけではないと知った。良い所は途上国にもあり、それを守る為にも一人ひとりが SDGs 達成の目標を定め、できる事を考えて行動する事が大切だと思う。

●佳作 奈良教育大学附属中学校 2年

タイトル:Preserve Social Harmony and Technology Connecting to the Future!

WRO (World Robot Olympiad)の大会で人との対面交流の大切さを知り、同時に人とロボットについて考えた。ロボットに仕事や感情を奪われるのは良くない為、これからは技術発展と共にソーシャルハーモニーの両立が必要と考える。

●佳作 奈良教育大学附属中学校 1年 タイトル:平等な命

犬の譲渡会で出会ったコップルを飼う事をきっかけに人間の都合で沢山の不幸な動物たちがいるという事を知り、「殺処分ゼロ」を目指す NPO 法人へのお小遣い寄付を開始。わずかでも自分にできる事をやっていきたい。

【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	801	346	1,251
京都府	836	909	1,692
大阪府	1,334	1,052	3,144
兵庫県	485	473	1,173
奈良県	489	6	819
和歌山県	343	35	35
計	4,288	2,821	8,114

賞の種類(中学生・高校生共通):

個人賞 最優秀賞	3名
(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)	
優秀賞	3名
審査員特別賞	4名
国際協力特別賞	10名
国内機関長賞	各都道府県1名以下
佳作	70名程度
【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修	
その他個人賞:フェアトレード商品	
【参加賞】応募者全員(エコファイル等)	
学校賞	60作品以上または全校生徒の3割以上応募(副賞:表彰メダル)
特別学校賞	5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)

【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生に対して、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2023年度は高校生の部が62回目、中学生の部は28回目を数える事業。最終審査員長は中学生の部が尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部が星野知子氏(女優・エッセイスト)。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QRコード参照)

